

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0991300179		
法人名	社会福祉法人 清幸会		
事業所名	認知症高齢者グループホーム まつばら荘		
所在地	栃木県那須塩原市黒磯字白崖647-4		
自己評価作成日	令和元年11月23日	評価結果市町村受理日	令和2年3月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人アスク
所在地	栃木県那須塩原市松浦町118-189
訪問調査日	令和2年1月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に立地し、さらに緑豊かな環境に恵まれています。また敷地内に姉妹施設もでき合同でイベントを行うことで利用者、職員にも良い刺激となっています。施設理念を「地域の認知症高齢者へ家庭的で居心地のいい生活を提供します」とし、利用者、家族、職員、地域の方々と積極的に交流し目標に向かっていきます。また、生活の中での機能訓練も大切に「できること探し」という視点で取り組むように心がけています。また、身体機能の低下や集団生活が困難になってきたときなどは家族と相談をしながら系列施設の特養への申し込みや看取り介護の説明なども行っております。介護職員の業務の負担軽減を考慮した道具の活用を積極的にを行い、多方面から質の良い介護ができるような取り組みを実行しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

木立に囲まれた広い敷地内に、同じ法人の二つの事業所が隣接して建てられていて、敷地の空きスペースを利用して芋煮会等のイベントを実施している。法人の事業所間で職員の異動があり、介護経験を積んだ若手職員が何名かいるため、事業所内は活気があり明るい雰囲気である。事業所独自の理念に沿って、職員がゆったりと落ち着いてケアにあたっているため、事業所内にはのんびりした穏やかな時間が流れている印象を受ける。訪問診療医との契約により、昨年からの看取りにも対応できる体制が整ったため、利用者の家族にその旨を伝え、看取り希望の有無を確認している。職員に対しても医師を招いて看取りについての研修を行って、利用者が重度化した場合は、その都度家族や関係機関と話し合い、選択肢を示して希望に沿って対応している。運営推進会議を「身体拘束等適正化委員会」の場としても位置づけていて、会議の中で、毎月職員会議の際に実施している虐待防止委員会の内容を報告して意見交換を行うなど、適切なケアの実現に向けて意欲的に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念をもとに作成したグループホームの理念を、玄関やフロアなど職員の目につきやすい所に掲示し周知を徹底し、朝礼や夕礼、職員会議での唱和を行うことで共有化を図り、理念に基づいたサービスを提供できるよう心がけています	職員は、「地域の認知症高齢者へ家庭的で居心地のいい生活を提供します」というグループホーム独自の理念を念頭に置いて、毎日ケアに努めている。職員は利用者に接する際は一人一人に目を合わせ穏やかに丁寧に対応していて、何事も急かすことなく利用者のペースで動いてもらうことを心掛けている様子が窺えた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に2回地域ボランティアとして近隣の方を施設に招き、行事に参加していただき地域との繋がりを大切にしています、回覧板を利用し定期的に事業所便りを配布し、地域との繋がりをより深められるよう努力していきます	近隣の女性3名がボランティアとして月2回事業所を訪れ、一緒にレクリエーション活動に参加したり、外出の際に同行して車いすを押してくれたりしている。自治会に加入しており、副自治会長に依頼して、毎月発行しているまつばら荘便り(広報紙)を近隣住民に配付している。利用者が散歩に出た際に、時々近隣住民と会い会話をしたり、お花をいただくこともある。	地域との交流は行われているが、限定的であるので、今後さらに交流を広げていく取組が期待される。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて認知症の方の様子や支援方法などを説明し、理解促進を図っています 地域ボランティアを受け入れることで地域の方と関わる機会が増え、事業所の情報発信にも繋がっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回のペースで開催し、実績や毎月の行事などの活動内容を報告し意見交換を行いサービス向上に繋げています その際に地域の情報をいただき、地域の行事に積極的に参加するため行事計画を立てています	2カ月に1回、併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で、市担当課職員・地域包括支援センター職員・副自治会長・民生委員・利用者・家族・法人グループ長等が参加して、運営推進会議を開催している。事業所の運営や利用者の状況等を説明するほか、情報交換等を行っている。また、「身体拘束等適正化委員会」の場としても位置づけていて、会議の中で、毎月実施している虐待防止委員会の内容を報告して意見交換を行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から運営に関する不明な点や困難ケースなど、市や地域包括支援センターに相談し助言をいただいたりと関係性を強化しています	市担当課職員が運営推進会議に毎回参加していて、情報交換をしたり運営上のアドバイス等をもたらすなど連携に努めている。生活保護の必要がある場合には、受給に関連する事柄について連絡を取り合うことがある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を発足し、運営推進会議の場で取り組み内容を報告しています また、身体拘束防止マニュアルを活用し、職員への周知徹底を図れるよう勉強会を行っています 玄関の施錠は、夜間のみで日中は自由に出入りができるようにになっています	法人として身体拘束防止マニュアルが作成されており、内部研修を通じて職員への周知徹底を図っている。月1回の職員会議の後半に、虐待防止委員会活動として、虐待防止や身体拘束等適正化について職員が交代でテーマを決めて資料等を作成し、話し合いを行っている。職員に不適切と思われる言動があった場合は、職員間で指摘しあうほか、管理者が指導を行い改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設置し、管理者が委員となり定期的に研修の場を設け、率先して虐待防止に取り組んでいます 月に一度の職員会議に時間を設け、月ごとに職員がテーマを決め虐待の防止について意見交換を行っています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	あすてらすをご利用されている入居者様があり、職員間で勉強会を開き理解に努めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約には十分な時間を設け、ご理解いただけるまで説明を行っています 契約後も、不明な点が出てきた時には気兼ねなく質問ができるよう配慮しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者が毎朝、利用者様お一人お一人に挨拶をして回り、体調のことや困りごとはないかお伺いしています そこで得た情報を職員に伝え、個々に対応、改善を行い運営に反映させています	職員が日常の関わりの中で利用者の意見・要望等を聞き取るようにしているほか、管理者もできる限り毎朝利用者に声掛けを行い、さらなる意見・要望等の把握に努めている。家族からは、面会時等に意見・要望等を引き出すような話し方を心掛けている。なかなか意見・要望等が出てこない現状はあるが、出された事柄については職員間で話し合い、できるだけ実現する方向で検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼の際、管理者も立ち会い意見や提案を聞き、即答できる内容なら即日に回答し反映させています 普段から現状を知る為現場に出向き、職員が声を掛けられる機会を多く設けています	管理者は、朝礼の際に職員からの意見・提案・要望等を聞き取るようにしている。月1回の職員会議では、職員からは自由に意見を出してもらい、運営や利用者のケアの改善に努めている。車いすを使用している利用者が半数以上いることから、職員からの要望を受けて法人に相談し、今年度、車いすのまま測定できる体重計を購入して利用者の健康管理に活用している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者の個々の努力や実績、勤務状況を把握しており、管理者は職員個々のそれらを把握し代表者に伝えて反映されるよう努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は特に人材育成に力を入れており、研修は年間計画を立てて受講させています。また事業所へ赴き、管理者や職員個々のケアの実際と力量を把握していきます。法人の介護技術マニュアルがあり、それに基づき統一したケアができるようトレーニングしていきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は定期的に他事業所へ赴き交流を図っている。併設の小規模の介護支援専門員が月に一度の地域ケア会議に出席している、また那須地区在宅医療・介護連携支援センター主催の集まりに参加している		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	導入前に施設見学や希望者様には体験利用をいただき不安を軽減してもらいます。またご家族様やご本人様からできるだけ多くの情報を得ておき現場職員には必要に応じて対応するように指示しております。利用当日は、実調や契約等で既に顔馴染みになっている管理者や計画作成担当者が職員に加え対応しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	導入前にご家族様の話をじっくり聞きます。ご家族様が話をしやすいように世間話を交え和んだ雰囲気づくりをしています。困りごとや不安、要望について管理者、計画作成担当者がわかりやすく親身に相談に応じ約束は必ず守り、信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入するにあたり、管理者、計画作成担当者共に協力しご本人様とご家族様が今何を必要としているか察し、話し合い検討し幅広い視点からご本人様とご家族様が求めているサービス提供への対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は「介護」に加え「生活支援」が重要な業務であることを意識しています。ご本人様ができる事はお願ひし、急かさず見守り待つなど職員も利用者様からの優しさや元気な姿にふれ合い、生き甲斐を見出し、支え合っていることを自覚しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	地域密着型としていつでもご家族様が気軽に来荘できる環境づくりに努めています 随時ご家族様と連絡を取り合い相談し、ご本人様とご家族様の意見のバランスを取りながら進めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	体調を崩した時には、訪問診療に連絡を取り顔馴染みの先生が往診に来てくれます 併設している小規模多機能の利用者様の中に馴染みの方がいて自由に行き来をし交流を取っていらっしゃる利用者様もいます 要望があれば馴染みの場所へドライブにお連れすることもあります	以前からのかかりつけの美容室に家族に連れて行ってもらっている利用者や、正月に帰省する利用者がある。併設の事業所を利用してグループホームに移った利用者が、同じ利用者仲間がいるということで互いに事業所間を行ったり来たりしている例がある。近隣に住む友人がたまに来てくれる利用者もいるが、家族以外の友人・知人の面会はほとんどないのが現状である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事時間には、体調不良者以外は皆様ホールに集まって頂いています 誰かが揃わないと皆で心配をするという関係が築けており利用者様同士の変化に気づいた時には職員に伝えてくれたりと助け合っている様子が伺えます		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもこれまでの関わりを大切にしながら、必要に応じてご本人様、ご家族様の今後について相談や支援を行えるよう取り組んでいます		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や普段の様子、また、ご家族様とのやりとりの中からご本人様主体の生活が送れるよう支援しております	職員は、会話のできる利用者からは、個別にケアに当たる機会等に思いや意向等を聞き取るように努めている。言葉の出にくい利用者の方は、本人の態度や表情等から職員が推し量るほか、家族等の協力を得て、本人が望んでいるであろう状況になるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様に「生活情報シート」などの生活歴等の情報をいただき、これまでのご様子を知ることで認知症ケアに有効活用するようにしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝の体調管理とご本人様の意向により、その日の過ごし方を職員間で相談し合い、ご本人の希望に沿った対応をしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の意向を確認しながら、医療と連携を図り担当者間で話し合い、介護計画を作成しています	介護計画作成担当者は、朝礼や職員会議の場で他の職員から利用者の生活・身体状況を聞き取り、利用者や家族からの意見・要望やモニタリング結果をもとに介護計画案を作成し、サービス担当者会議で検討を行ったうえで介護計画を作成している。利用者の状況に大きな変化があった場合は、状態に応じた適切なケアが実践されるよう、速やかに介護計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護ケア記録、申し送り一覧に日々の様子や気づき等を残し、利用者の状況状態を周知できる また出勤時に確認し朝礼・夕礼の申し送りの再確認ともなり、職員間での情報の共有と実践に繋がっております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の状況に応じ、臨機応変に通院や買い物などの支援に対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々にボランティアを依頼し、歌謡曲、三線による音楽鑑賞、フラダンス、大正琴の方にも来荘していただけるように計画を立てています 生活の中に楽しみや、年間の行事を通して季節の移り変わりを感じてもらえるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院は、ご本人様ご家族様の希望に添いながら、関係性を重視し、なるべく長年診てもらっていたかかりつけ医の診察を受けられるよう配慮しています	最近では事業所が契約している訪問診療と訪問看護を受ける利用者が大部分である。家族の希望により大学病院で定期受診したり、訪問診療医の専門外の治療のためにかかりつけ医を受診している利用者も一部いて、家族が対応できない場合は職員が同行して受診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化がみられた時には、直ぐに併設の看護職員に相談し、対応法や受診など適切な指示を仰いでいます また、訪問診療を利用している為24時間連絡が取れる体制となっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の方が、入院された際には出来るだけ面会に行き、状態を把握するとともに医療ソーシャルワーカーやご家族様と連絡を取り合い早期に退院できるよう心掛けています 退院前には、医療現場から経過状況の報告を受けることでご本人とご家族様の意向に沿った提案や目標を立てることができています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と十分な話し合いを持ちながらご意向に沿うよう努めております 昨年から事業所での看取りについても取り組んでおります ご意向があれば随時取り組んでいくと同時に特別養護老人ホームや医療機関等の情報もお伝えしております	訪問診療医との契約により、昨年からの看取りにも対応できる体制が整ったため、利用者の家族にその旨を伝え、看取り希望の有無を確認している。職員に対しても医師を招いて看取りについての研修を行った。利用者が重度化した場合は、その都度家族や関係機関と話し合い、選択肢を示して、希望に沿って対応している。	昨年急逝した利用者がいたためお見送りをしたが、看取りという状況ではなかった。今後も職員への研修等を継続的に行い、看取りに備え体制整備に努めることが期待される。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを整備し、職員全員が把握できるようにすると共に、定期的な普通救命講習の受講にも積極的に参加しております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の自主避難訓練と年2回の消防署員を招いての総合避難訓練を行っています また事業所の避難訓練に地域住民にも参加してもらえよう訓練の実施と参加のお願いを定期的な事業所便りを通し回覧板で案内している	併設の事業所と合同で行っている防災訓練では昼夜両方の想定で訓練を行っており、夜間は近くに住む職員が連絡網により駆けつける体制をとっている。地域の自治会役員や民生委員には運営推進会議の際に、また近所のボランティアには来所した際に、声をかけて訓練への参加を依頼しているが、今のところ実現していない。発電機のほか、非常時用の備蓄品を2、3日分用意しており、非常灯や非常口などの避難経路を毎月点検している。	火災以外の自然災害を想定した訓練も次年度実施予定とのことなので、訓練で得られた課題を職員全体で共有すること、できるだけすべての職員が繰り返し訓練に参加することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	同じ高さか、やや下の目線の位置でお話しています 介護は「させて頂いている」という気持ちで、言葉遣いは必ずおうかがいをたてる言葉遣いを心がけ、命令言葉を使いません また入浴は、お一人ずつ、排泄介助は丁寧かつ迅速に行っています	職員は、利用者は自分の家族であるという気持ちで接し、不快に感じるだろうと思われることはしないよう心掛けている。やむを得ず、共用部分のフロアで会議を行う際は、話の内容が伝わらないよう声の大きさに気を配り、利用者の個人名がわからないようにイニシャルで話したりしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	遠慮しがちな人、内向的な人には行動や表情から訴えや思いが汲めるように職員に観察力を養う努力をするよう促しています 一人ひとりが思いを表現できるよう信頼関係の構築と環境、雰囲気づくりをする努力をしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	こまめな声掛けを行い、ご本人様の意向を確かめながら過干渉、ほったらかしにならないようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身の希望の衣類が着用できるよう選んでいただいております 外出の時は、帽子をかぶり身だしなみを整えております 普段の生活の中でもご本人様が着ている服や髪形に興味を示すお声かけをしております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、献立を掲示することで食事に対してご利用者が楽しみを持てるように配慮している 芋煮会など行事の際には職員と一緒に利用者様にも野菜の皮むき等を行っていただいております	昼食と夕食については併設の小規模多機能事業所の調理員が手作りしたものが運ばれてくる。朝食は職員がキッチンでごはんのみそ汁を作り、おかずは宅配の食材を温めて提供している。重度化が進んでいるためほとんどの利用者は一緒に調理や配膳はできなくなっているが、おしぼりを丸めて食事の準備をしている人がいる。不定期ではあるが、材料を混ぜたりしておやつ作りを一緒に楽しむこともある。公民館祭りなどの会場へ出向いて外食したり、敬老会では一人ひとりに生寿司を取って喜ばれた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日の食事、水分の摂取量を記録、把握し健康管理に役立てています 食事は、咀嚼・嚥下の状態に合わせて適切な形状で提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に応じて義歯洗浄、歯磨き、うがいの声掛け、誘導、促し、介助をしています 口腔ケアに使用する歯ブラシ、コップも定期的に消毒、乾燥しています 口腔内の状態も確認し、何かあればかかりつけの歯科医が訪問してくれる体制が整っています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿、排便の記録をつけています 居室9部屋に対して個室トイレが4か所あり、トイレは各居室から近くて便利です オムツをしている人でも尿便の訴えあればトイレで排泄する援助をしています	重度化によりおむつをしている利用者が大半であるが、状況に応じてトイレに誘導している。リハビリパンツからテープ式に変えたことにより、排泄時の介助にかかる時間が短縮できて本人の負担が軽減された利用者がいる。また、夜間熟睡して排泄のタイミングを逃して失敗していた利用者について、居室を少し明るくすることで、目覚めやすくなってうまくトイレに誘導できるようになった事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録をつけ個々のパターンを把握しています 記録にはご本人様が何日排便がなかったかが一目で分かるようチェックシートを使用しています 適度に体を動かす、水分こまめに摂取し日常生活から気を付けています 自然排便が困難な方には医師に相談し処方された下剤を適宜使用しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の入浴予定日は、受診や外出予定を考慮してきめています カレンダーに入浴日の印をつけ、それによって利用者様はその日を楽しみにし、入浴準備を済ませ待っていただけます それぞれ計画的に過ごされるので入浴時間はゆっくり自分の時間として楽しまれています	基本的に週に2回、昼間の時間帯に入浴している。長年の習慣から夜の時間帯に入浴を希望する利用者もいるが、事情を説明して理解してもらっている。入浴を極端に嫌がる利用者があり、職員の介助で入浴できることもあるが、家族に介助を協力してもらうことでスムーズに入浴できることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の居室は、夜眠るだけのためのもではなく昼間でも自身のプライベートスペースとして休息やくつろぎの場所として活用されています 室温や寝具の調整、照明など個々に合わせて用意し、安全かつ安心してお休み頂いています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的に訪問診療に薬を依頼し手配していただく 薬局より届いた薬を保管管理しています いつでも確認することができるように薬の説明書を個人ごとで内服薬ファイルに保管しています 症状の変化については早期発見と適切な対応に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ショッピングの好きな方、散歩の好きな方には外出やドライブの機会を設け、音楽の好きな方にはカラオケ機材に合わせ歌っていただき、歌うのが難しい方には職員が歌い楽しんでいただける環境を整えています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員が業務上、買い物等に出掛ける時、支障がなければ「一緒にいきませんか」と声かけをしたり、希望があれば一緒に出掛けます 天気の良い日には外に散歩に出かけます 近所を散歩中にお花をいただくなど地域との交流も行っております ドライブが好きな方には併設の通いサービス時の送迎車に同乗することもあります	利用者の大半が車いすを使用しているため、全員がそろって外出することは難しいが、天気の良い日中などは、車いすで事業所周辺の散歩をしている。職員が交代で行事の計画を立てて、桜やつつじ、紅葉などを見物しに那須山や近隣の公園までドライブに行っている。その際は地域のボランティアが参加して車いすを押す手伝いをしてくれたり、車内で話し相手になってくれている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えるように支援している	お金は保管していませんが、有料の博物館見学时は入場前にお渡しし、職員見守りの中、支払いをもらったりしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙のやり取りは自由にして頂いています 希望があれば電話を渡しかけていただいています 年賀状が届いた時にはご家族様来荘時にお伝えしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が編んでくれた縄をフロアに飾ったり、編んでくれた籠を利用させていただいています 四季の変化や行事にはフロアや廊下の装飾を変え季節の移り変わりを感じていただいております 観葉植物や家族からの鉢植えなどを配置しています	事業所の敷地は広く、建物全体が余裕のある造りになっていて、廊下も広いので、手で車輪を回すのではなく自分の足を使って車いすで移動している利用者も危なげなく行動している。ユニットには4つのトイレがあり、居室の近くに配置されているため利用者が使いやすくなっている。玄関には、職員が工夫して手作りした職員紹介パネルがあり、利用者だけでなく利用者家族にも職員のことが身近に感じられるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内には食事コーナー、テレビコーナー、リクライニングコーナー、ソファコーナー、廊下には気軽に読書が出来るよう本棚も用意しており、ベランダに季節の生花を植えており、フロアから観賞できるようにしております また、気の合った利用者様同士で部屋を行き来できるよう自由に過ごしていただいております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やご本人様の気に入った雑貨などを活かして家庭的な居室になっています 好きな動物のポスターや、お孫様やご家族様のお写真を飾っている利用者様も多くいらっしゃいます	掃き出し窓のため明るい居室には事業所備え付けのベッドとサイドテーブルのほか、利用者それぞれが持ち込んだタンスやテレビなどが置かれている。居室内の様子は、利用者の好みによって様々であるが、家族の写真が置かれていたり、職員と利用者と一緒に作った季節の飾り物が壁にたくさん飾られていて華やかな感じの居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	キッチンには車椅子の方でも口腔ケアができる設備があります 浴槽は1人用で使いやすく大きさ深さもちょうど良いです 階段、段差なくすべてバリアフリーです 必要に応じ介護用品を用意し、滑り止めや浴槽内の椅子なども使用しております		